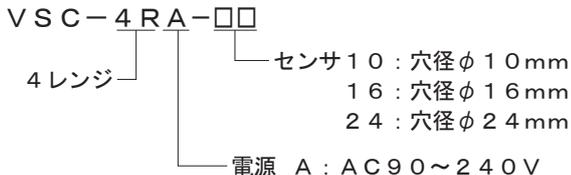


雷サージカウンタ

VSC-4RA-□□

■ 形式



■ 主な機能と特長

- ・検出電流は現場で切換え可能  
レンジ選択 (10A/20A/50A/100A)
- ・サージセンサは取付けが簡単なクランプ式
- ・デジタル表示が大きく見やすい
- ・手動リセット付きで操作が簡単
- ・DINレール取付け可能
- ・停電時の計数可能 (約20回以上)  
(但し、充電状況によります。)

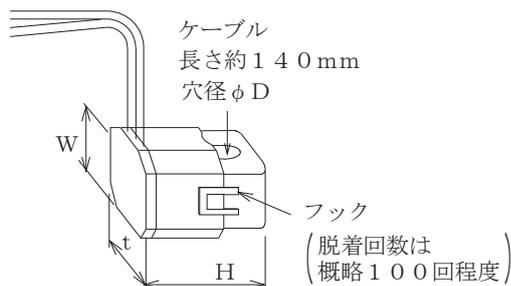
■ サージセンサ外形寸法図 (単位：mm)

MODEL サージセンサ外形寸法

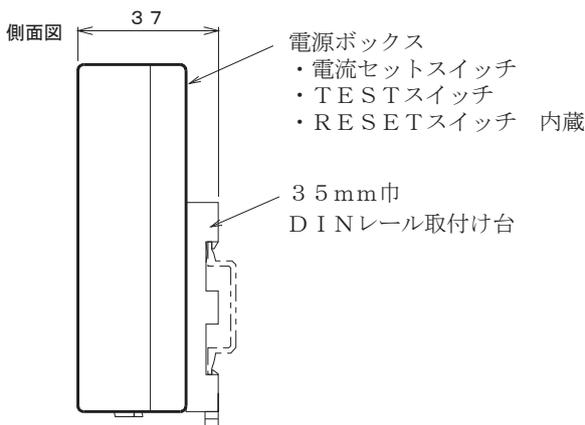
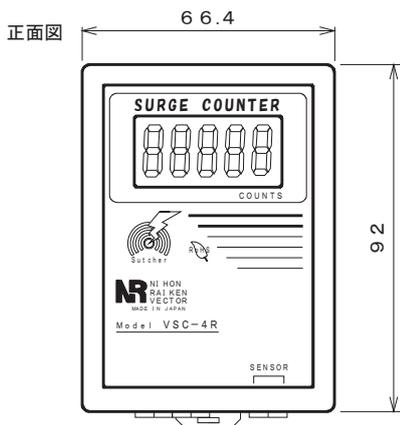
V SCT-10：穴径φ10 26W×38H×23t

V SCT-16：穴径φ16 29W×45H×31t

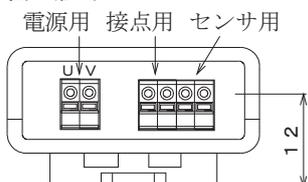
V SCT-24：穴径φ24 34W×64H×45t



■ 本体外形寸法図 (単位：mm)



コネクタ面 形式VSC-4RA



コネクタ仕様 5mmピッチ

- 使用可能電線：単線0.4~1.2mm (AWG26~16)  
撚線0.2~1.25mm<sup>2</sup> (AWG24~16)
- 端子金具：PC端子/標準剥き線長 11mm
- 使用工具：マイナスドライバー刃先幅2.6mm

■ 仕様

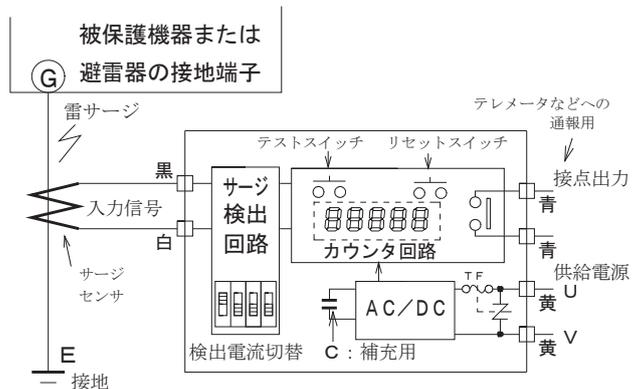
検出電流：インパルス8/20μs  
10A/20A/50A/100A以上  
(スイッチ切替可)

表示方式：7セグメントLCD  
桁数：5桁 (文字高さ14mm)  
使用温度範囲：-10~+40℃ 但し氷結しないこと  
使用湿度範囲：35~85%RH 但し結露しないこと  
寸法：W66.5×H28×D112mm  
重量：約122g (サージセンサは含まず)  
ケース外装：ABS樹脂 (ブラック)  
電源：AC90~240V 約1.2W以下  
充電 (約20分後 約0.6W以下)  
接点出力：定格負荷 AC125V 0.3A/DC30V 1A  
(無電圧) 接点の最大値 AC125V DC60V

■ 付属品

クランプ式サージセンサ (指定) 1個

■ 端子接続図



⚠ 避雷針の接地線には使用しないでください。

本器を安全に正しく使用していただくため、事前に下記の事項をご確認ください。

## ■ お願い

- ① センサの端子には指定以外の部品を接続しないでください。
- ② 取り付け時の注意
  - ・ 耐水性、耐油性では有りません。水気や油気をさけてください。
  - ・ 爆発性ガス、引火性ガスのあるところでは使用しないでください。
  - ・ 修理の際は販売店を通じて製造元に返送してください。

**⚠ 避雷針のアースには使用しないでください。**

## ■ 正しい使い方

### ① 電池式 VSC-4RB の場合

- ・ 長期間使用しない場合は電池を取りはずしてください。— 液漏れにより電極が腐食します。
- ・ ⊕ ⊖ を間違えないようにしてください。
- ・ 電池交換時に計数値を残したい場合、電池抜き取り後、約30秒間は維持しますので、その間に交換してください。

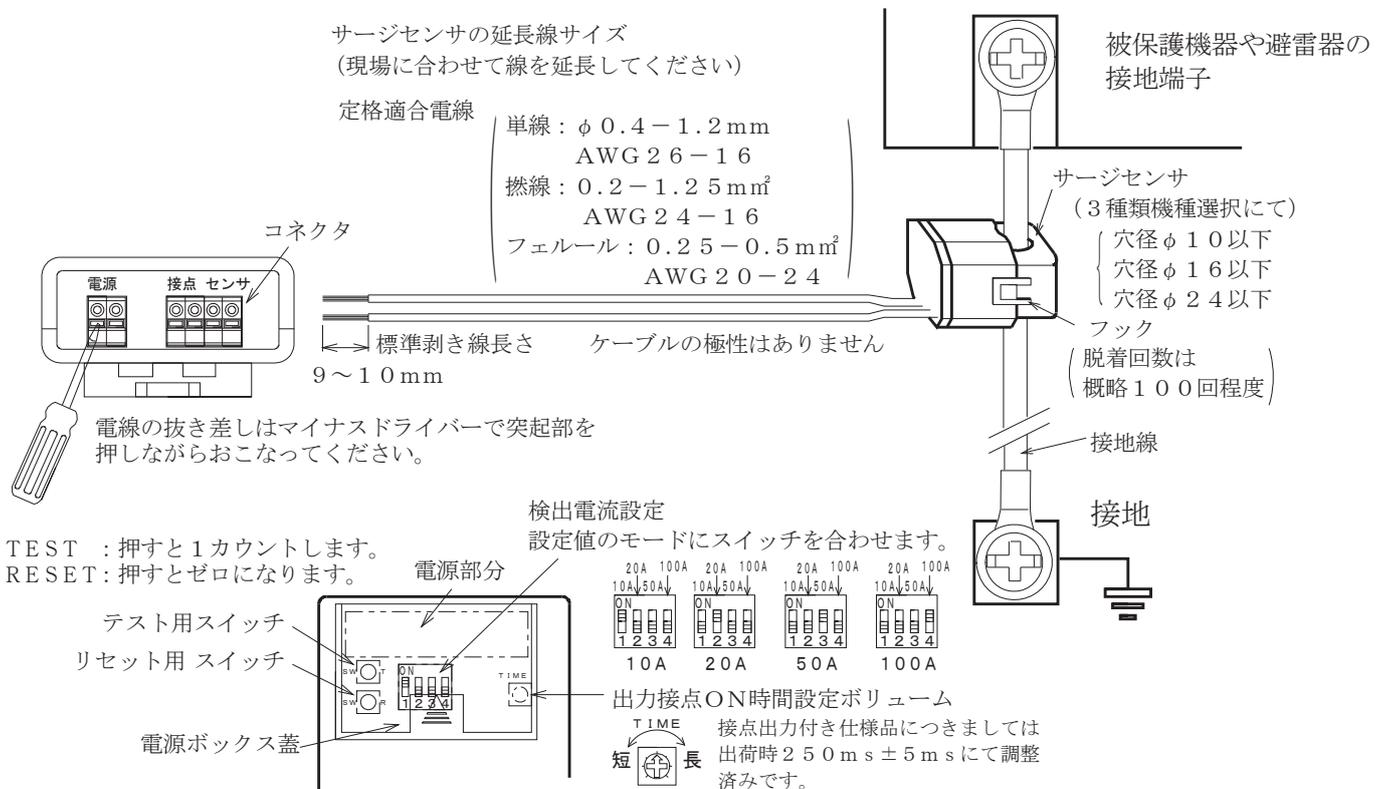
### ② 外部供給電源式 VSC-4RA / 4RD の場合

- ・ 配線作業は必ず元電源をOFFにて作業をおこなってください。— 感電やショート of の恐れがあります。
- ・ 直流式は ⊕ ⊖ の極性を確認してください。— 端子の赤色が ⊕、黒色が ⊖ です。
- ・ 交流式は極性の指定はありません。— 端子の黄色が交流用です。
- ・ 仕様以内の電圧範囲であることを確認してください。
- ・ 配線の抜け落ちにご注意願います。— 配線後少し引っ張って確認をおこなってください。

### ③ 下記の環境では使用しないでください。

- ・ 温度変化の激しい場所や湿度が高く、結露が生じる恐れのある場所。
- ・ 振動の激しい場所
- ・ 高圧電源付近や発電機、インバータなど強電磁界の多い場所。
- ・ 換気扇や蛍光灯のスイッチなどのノイズ源を避けて配線してください。

## ■ 取付方法および端子配列

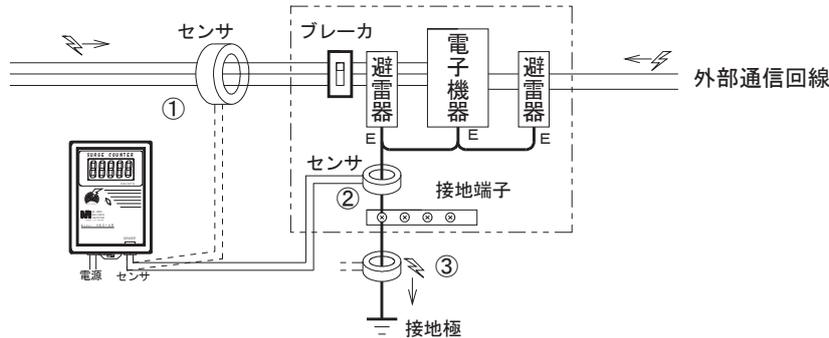


## ■ 品質保証

保証期間：ご納入後1年間の保証と致します。 保証期間：ご納入後1年間の保証と致します。  
保証条件：万一、当方の責任による不測の故障等が生じた場合、保証期間内において無償修理致します。  
但し、分解されたものにつきましては保障致しかねます。

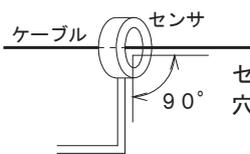
■ 設置方法

・ 電源ラインの場合



- ① 電源ラインは全線をクランプしてください。（常に位相がゼロであること）
- ② 避雷器の通過確認は接地端子のところをクランプしてください。（推奨）
- ③ 盤全体と接地間の場合は、接地端子以降でクランプしてください。  
盤全体が建物の鉄骨などに取り付けられている場合は、計数はできません。  
また、避雷針、A種B種D種C種接地が同電位化されている場合は、  
ノイズの影響により正しい計数ができないことがあります。

■ センサのつけ方

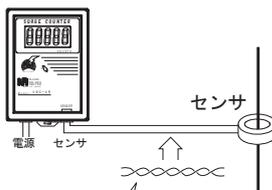


センサの穴に対して直角が望ましい。  
穴径に対してケーブルが細い場合、ビニールテープやインシュロックなどで固定してください。

■ 設置に関する注意

近傍にノイズの発生源がある場合正しく計数しないことがあります。

- ・ 近傍にモーターなどある場合、常時ノイズが生じています。
- ・ 換気扇などある場合、スイッチのON/OFFでノイズが発生します。
- ・ パネル内用の蛍光灯のON/OFF時ノイズが発生します。



ツイストペアケーブルにする  
方法はノイズ対策に有効な  
方法です。

（いずれも電波受信状態で防ぎようがありませんが、シールド線を使用するか、  
センサの2本のケーブルをツイスト（捻じる）することで多少軽減できる  
こともあります。）